



職員用学校生協だより 2月号

鹿児島県学校生活協同組合 鹿児島市山下町4-18

2018(平成30)年2月8日

発行者 今村 悟

編集責任者 迫田弘昭 電話099-225-2666

FAX 099-227-4271

こんにちは！ 学校生協です

これまで事務室向けに「生協だより」を発行していましたが、職員向けも作ってほしいと要望があり、今月から作っています。職場内回覧でご覧ください。暦では春を迎えますが、2月は一年で一番寒い月です。今年は、例年以上に2月の寒さを感じます。「如月」、寒くて「着更着」という説もあると聞きますが、灯油も上がり、ガソリンも上がり、野菜も高いです。なんとか寒さを乗り切りながら春を待ちたいものです。これからも学校生協をよろしくお願ひします。



引越事業「サカイ引越センター」のあんない



昨年まで実施した生協の「安心安全引越し事業」は昨年で終わりました。今年から、「サカイ引越センター」と提携し、「特典付き引越し」を組合員に案内しています。事業の中身は、昨年までの教職員に限っての引越から、一般の方々と同じように見積、引越計画をたて、料金や準備などに教職員のみの特典が付くという契約になっています。また、申込も直接「サカイ引越センター」にするとなっています。昨年までは1月から予約を受け付けていましたが、今年は行き先と大まかな引越し日程が決まらなると見積を受け付けません。当然、教職員の場合は地区が分かるのが3月上旬なのでそれからの段取りになるかと思ひます。1月末から生協には「サカイに電話しても受付してくれない」というクレームが何本か来ています。学校生協が県下の教職員の引越に責任を持てる力もないし、残念ながら、普段からの生協利用も十分でない状況から、こういう契約に至っています。

いま、運送業界は極端な人手不足です。運送料も値上げせざるを得ないなど社会問題化されています。そういう中で、昨年まで日通さんには大変な努力をしていただきました。しかし、学校特有の引越や人手不足なので、安心安全引越事業を、今年も続けるということができませんでした。



2017年3月末人事異動

引越予約238件、成約件数123件、並松運送実施5件、キャンセル110件(内41%がキャンセル理由不明)の状況でした。日通さんはある程度、予約でコンテナ、人的措置をしますが半分近くがキャンセルとなり、その連絡も、日通営業所(見積などをしたところ)ではなく、コールセンターの連絡などで人と接したものでなかつたみたいです。また、教職員の引越のキャパをこなせない、PTAの加勢の都合で時間を指定したり学校独自の引越方法が、今の運送業界の常識とずれがあるなど、対処できなかつたみたいです。

昨年は3月27日の週に84.6%の引越が集中し、ここを1社での対応するには厳しいでした。

日	3/24以前	3/25	3/26	3/27	3/28	3/29	3/30	3/31	4/1	4/2	4/3以降	
曜日		土	日	月	火	水	木	金	土	日		
数	2	3	5	13	14	19	22	20	16	6	3	
%	1.6%	2.4%	4.1%	10.6%	11.4%	15.4%	17.9%	16.3%	13.0%	4.9%	2.4%	
集中度				84.6%								

県職員生協も「サカイ引越センター」と提携しています。提携から4・5年経つと聞きます。県庁職員の人事異動スケジュールが教職員より早いですが、「サカイ引越センター」への見積依頼などまだ動きはほとんど無いとのことでした。

学校の教職員も事前にサカイさんに情報を聞くことはあると思ひますが、具体的に動き出すのは3月からかなと思ひます。

ガソリン提携の南国殖産（株）3・4月限定「ご愛顧感謝キャンペーン」の案内



ガソリンの値上げが続いています。学校生協は、岩崎産業、南国殖産、ミスミの各ガソリン販売会社と値段の交渉を行い提携して教職員にガソリンを提供しています。この度、南国殖産（株）が、日頃のご愛顧への感謝をこめて、2018（平成30）年3月と4月にプレゼントキャンペーンを実施します。

南国殖産の給油所において、カードを提示し15ℓ以上の給油をされると、別紙チラシのようなプレゼントがもらえます。ぜひ、この機会に南国殖産でガソリンの給油をされてください。今回、南国殖産ガソリンカードを保持している先生方には事務室を通じてご案内チラシを同封したDMを入れさせていただきました。ぜひ、ご利用いただきたいと思えます。

また、南国殖産カードを保有していない方も、これからガソリンカードを取得すれば間にあいます。鹿児島県学校生協ホームページのガソリン供給事業のバナーをクリックすると「給油カード申込書」があります。そこからダウンロードされて、学校生協へ申込されてください。カード発行は無料です。



教職員共済と学校生協

学校生協と教職員共済は2006年から、お互いの事業を円滑に進めるために代理店契約を結びました。学校生協は、教職員共済の事業の教宣・募集に関する業務の委託を受けた事から教職員共済の総合共済、火災共済、自動車共済の制度を案内しています。

【自動車共済】：公務使用中の等級ダウンはありません。事故などしないと毎年、保険料が下がることはご存知だと思います。教職員共済は通勤途中の事故も等級ダウンがありません（補償充実コースで6等級以上の場合）。鹿児島の教職員は車通勤が多い、そこそ遠距離通勤である、朝は分単位でお家のこと、家族のことを済ませて出勤している状況だと思います。万が一の事故に備えて、担当者4名が県内一円をカバーし、契約者は教職員だけなので学校の実情も良く分かり、相手方との事故対応でも余り先生方が学校を離れないように対処し、対応も丁寧な教職員共済の自動車共済を利用されませんか。



【総合共済】：毎月900円の掛金で（5年以上加入で400円×払込月数は退職時に返ってきます）住宅の損害、休業、傷害、死亡、後遺障害、介護、遭難救助、損害賠償（個人・教職員）をサポートします。

【火災共済】：再取得価額（火災時の評価額でなく同程度のものを新たに購入・修復するために必要な標準的な価格）の査定による補償なので建物が古くても安心です。「家財のみ」の契約もできます。

共済を利用したいな！一度話を聞いてみたいな！と思ったら学校生協へお電話ください。

行政書士のサポート事例 「相続ひまわり相談室」行政書士恩田昭雄さん提供

【終活対策としてのご利用】

最近使われる言葉に「終活」（しゅうかつ）というのがあります。終活とは、「人生のエンディングを考えることを通じて自分を見つめ、今をよりよく自分らしく生きる活動」という前向きな意味とされています。以前は「縁起でもない」という風潮もありましたが、今日では自分の老後や終末について自分で考えなければならない時代背景もあるようです。趣味や生きがいを見つけ、存分に謳歌することも終活のひとつなのでしょうが、老い支度（任意後見）や自分が亡くなった後の準備（遺言）をしておくことも、後々の心配事を減らし、今をよりよく生きることに繋がっていきます。何と申しましても、人生において老後や終末を迎えることは、大事業です。やり直しがきかないことからこそ事前の備えを万全にしておく必要があります。（北薩地区の学校にはチラシを一部入れさせていただきました）